

令和5年度「寺子屋まつだ」生徒さん募集!

生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係
☎(83)7021

「寺子屋まつだ」は、学校や家庭・地域が連携して子どもたちの学びや成長を支えていく事業です。月2回土曜日に小・中学生を対象にさまざまな講座を開催します。ぜひお申し込みください。詳細は、2月中旬に生涯学習センターの公式サイトにてお知らせします。

<申込受付> 日 3月5日(日) 午前10時～正午 場 生涯学習センター

時間	講座	対象
午前	算数①②③	②③小3・4年生／①小5・6年生
	ペン習字①②③	②③小3～中学生／①小5～中学生
	小学生の英会話①、①-2	小3年生～(ABCを書けるようになりたい人)
	小学生の英会話②、②-2	小3年生～
	Let's 手話	小1～中学生
午後	コーラス&鼓笛隊	小1～一般
	茶道	小3～中学生(500円/月2回)
	ボルダリング①②	小2～中学生(1,000円/月2回)
	ヒップホップダンス①	年長児～小3(1,000円/月2回)
	ヒップホップダンス②	小4～中学生(1,000円/月2回)

中学生寺子屋 新1年生は、3月よりスタート! 英語・数学(火・木曜日) 定員6人
(別途テキスト代がかかります。詳細は、生涯学習センターにお問い合わせください。)

松田 文化財探訪

続・町指定文化財とその周辺 その35

文化財保護委員 鈴木 一行

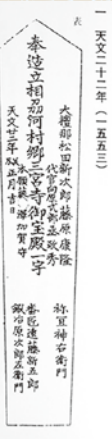
余話として(三) 二人の松田氏③

戦国期の松田城主として松田新次郎が知られています。江戸前期、小田原藩主稲葉氏が越後高田に転封になった際に作成した「稲葉家御引送書写」に、松田城は「松田新次郎取立之由申伝候」とあるのがその根拠のひとつです。ここでは新次郎の実名は不明です。しかし、山北町湯触の「河村郷三宮寺棟札写」には「大檀那松田新次郎藤原康隆」とあり、彼が「康隆」と名乗っていたことが分かります。建築物の創建・修理時につくられた棟札も大切な史料なのです。

さて、その松田新次郎康隆のことですが、北条氏が家臣の所領高を記した『北条氏所領役帳』には「西郡川村219貫15文、西郡松田西分14貫580文、西郡東大友56貫53文」とあり、彼の所領の大半が山北町にあったことが窺えます。そして、康隆は松田城のほか湯ノ沢城(山北町中川)の城主でもありました。

系譜的には康隆を松田憲秀(北条氏の重臣で、小田原合戦時に秀吉方に内通したとされる人物)の弟とする説があります。しかし、松田氏の名字の地である松田や東大友(小田原市、松田頼秀の旧領)にも所領がある事から、頼秀の直接的な後継者であったとする説もありません(頼秀については前号を参照してください)。「山北町史」は前者の説をとり、「康隆は武田信玄への防備として湯ノ沢城に居城したが、永禄12年(1569)に武田軍に攻められて開城し、自害したと思われる」と述べています。

では、松田城はどうなったのでしょうか。残念ながら、松田城に関する文献は少なく、城郭全体の発掘調査も行われていません。調査が実施されれば、その謎が解けるかも知れませんね。



三宮寺棟札写

『庶民信仰がわかるやまきたの棟札』